

阿智村教育委員会 令和2年12月定例会会議録

- 会議日時 令和2年12月25日(金) 午後1時30分
- 会議場所 阿智村中央公民館会議室
- 出席者 教育長：黒柳紀春 教育長職務代理：原 勝人
委員：原 彰彦 委員：熊谷 歩 委員：熊谷 均
【事務局】
教育次長：熊谷修一（全体進行）
公民館兼社会教育係長：川上 悟 子育て支援室長：島岡佐喜子
保育園総園長：原 満 学校教育係：熊谷 宏
学校教育専門主事：羽生武彦 学校教育専門主事：佐々木 豊
（欠席）学校給食係長：石原哲成

1 新教育委員あいさつ

（教育長）熊谷均委員の紹介

（熊谷均委員）

新たに教育委員となりました。学校薬剤師をやっておりますが、今まで教育委員会は関係のないところだと思っていました。一生懸命努めてまいりますのでよろしくお願いします。

2 教育長あいさつ

- ・本日、村内小中学校の2学期終業式があり2学期が無事終了しました。
- ・通級指導教室の西部地区サテライト教室設置について県から認可の連絡があった。これまで、対象者は飯田市の伊賀良小学校に通級していたのでとてもありがたいこと。予算の件もあるが阿智第三小学校の空き教室を活用して準備を進めてまいりたい。
- ・12月議会で2人の議員から一般質問があった。内容は配布した資料のとおり。

3 協議事項

（1）令和3年度予算編成に向けて

- ・教育次長説明

（原彰彦委員）

若駒アカデミー1年生分の予算はどうなっているか。

（教育次長）

来年度予算に計上する予定です。

(原彰彦委員)

若駒アカデミーは3年生を承認してそのうちに2年生に拡大した。2年生については事後承諾だったと思う。本来なら定例会において検討すべき内容だと考える。この前の校長会では定例会に審議がなく1年生に拡充すると発表された。そこではあえて反対意見は出しませんでした。1年生まで拡充することについて私は時期尚早だと考えます。学力向上は当然だと思うが、中学1年生は教科担任制、中学の生活に慣れる時であり、余裕を持った生活をするのが大事。読書に親しむなど必要なこともある。保護者や1年生から要望がどのくらいあったのかということも含めながら、もう少し要望があってから行っても問題がないのではないかと思います。もう一回じっくりと今までやったことを確認しながら、成果を見ながら1年生にゆっくりとやっていけばよいと思う。

(教育長)

予算編成は事務局の業務。予算を計上し定例教委でご意見を伺う手順なので、1月の定例教育委員会でお示しした際ご意見をいただければと思う。

(原彰彦委員)

清内路の学校の芝生化について計上しているのか。

(教育次長)

予算編成にあたり、12月1日に保護者対象の説明会を開催した。説明会をする中で保護者にもいろいろなご意見がありまとまりませんでしたので、来年度については芝生化は見送るということで考えている。

(原彰彦委員)

反対意見が出たと聞いている。このこともどのような意見が出たかということを中心に話し合っただけで今度どうするかやってもらいたい。

(2) 生活・生徒指導上の課題について（非公開）

(3) その他

(原勝人委員)

学力向上支援事業について、若駒アカデミーの検討をしている1年生、今年度実施した2年生の状況を把握したい。また提言をしたい。それらを含めて学力向上支援事業が来年度も計画されるが、キャリア教育やコミュニティスクールの推進を今年度進めていただいているところですが、そうしたことも盛り込み多面的な取り組みの中で学力向上を目指していく計画をしていただきたい。若駒アカデミーへの提言ですが、10月に出された学力向上の取り組みを読みかえしてみると、コロナ禍にあつて学力向上の取り組みが力強く発信されて大変ありがたいと思う。全国学調に代わりNRT検査を基に各学校の実情や取り組みがきちんと整理されて保護者に発信されている。そうしたところを感謝申し上げたい。NRT学力検査の結果、各校の分析を読ませていただくと、読む力・話し合う力・文章を多面的に読む力をつける必要があると分析されている。一方、保護者が学校教育に求めるものということで

は論理的・多面的・主体的な学習であるということを述べている。それらはともに合致する内容で、学校のつきたい力、保護者が求める力がここにあると思う。学力向上支援事業がそうしたものを軸に進めていただくことを考えてもらいたいということで、中学3年の子どもは入試に向かう学力ということで生徒も講座の先生も合致しているが、2年生の取り組みはどうだったのか。これから整理されてくると思うが、1,2年生の講座内容というものをある程度今も申した内容に沿うように展開できれば若駒アカデミーが効果的に展開すると考えている。そうしたところをお考えいただきたい。可能であれば中2の取り組みの様子を教えてほしい。

(教育長)

ご意見として伺っておきます。来年度予算に関わることで、1月の定例教委に計上した時に改めてご意見をお願いします。

(羽生学校教育専門主事)

2年生は週1回部活動のない水曜日の放課後、職員会議の裏番組として始めましたが、数学と英語2教科で年28回計画しました。コロナでスタートが遅れたので実際は24,5回の実施になります。英語は佐々木先生、数学は市場先生。生徒は希望者で7割から8割の参加で実施。基礎的な内容で学校の授業で定着していない場面を選んで補充する形で行っている。学力向上は学校の授業や学校の取り組みです。アカデミーは補完的な取り組みをする。今後を見据えた時に、このところの理解が足りないと進級して学習に苦しむだろうということに力点を置きながら数学は進めている。

(佐々木豊学校教育専門主事)

6月から英語を担当している。学校訪問で生徒の授業を見ているので実体的なものはある程度把握している。大きなふたこぶラクダの成績分布になっています。授業の中ではなかなか対応できないような、具体的に英語が好きな生徒はもっと向上したい、苦手な子どもは英語の単語の意味も解らずに授業が進み、意欲が持てない姿もある。始めるにあたりアンケートをとった。苦手な生徒は英単語の覚え方から始まり、基本的なことがハードルになっていることがつかめた。得意な生徒はもっと自分の力を伸ばしたい、英検の上の級をチャレンジしたいと考えている。今年の講座は1つだけなので2講座になれば対応しやすいと思うが、多様な生徒に対応した講座をやるのは非常に難しい。英語の音を聞いて音として理解することなど基本的な文法から始めた。今は入試のリスニングテストの問題を入れてやっている。結論的には定期テストの相関をみると伸びが見られる。苦手な子や得意な子も伸びている。普段の授業の中でももう少し深く丁寧にというところのニーズになるべく応えられるような講座運営を心がけている。難しさを感じながら行っている。

(原勝人委員)

大変ありがたい取り組みで感謝しています。ダイナミックに希望をとって隔週で焦点化していくこともよいと思う。

(原彰彦委員)

最終的には授業が中心である。その通りだと思う。若駒をやっていることで最後に授業がわかりやすくなってくるという方向が大事だと思う。

(熊谷歩委員)

保育園の園庭の芝生の管理費について実績、保育園の待機児童についてと保護者のニーズに対応できているかということを知りたい。

(保育園総園長)

芝生の管理について、昨年の3園については施肥2回、芝刈り4回、散水10回程度行っている。費用は28万円。今年度実施した2園については散水を30回くらい行っている。待機児童については、申し込みがあって話をして仕事を休めるという方もおり、実際にはいない。年度当初の説明会である程度の様子を聞いて計画的に入所してもらっている。

(原彰彦委員)

テレビで議会答弁を聞いた。教育委員会定例会で練って校長会や議会へおろすべきだと思っていた。私たち教育委員会は定例会のチェック機能を持っていなければならないわけであるが、割合と迅速に進めるために校長会とか議会とかにすぐそのまま実践していく。1回教育委員会の定例会におろして練っていくなら良いがそういう過程が少なかったと感じます。私たちもそれに対してきちんと行ってこなかったので通ってしまった部分もある。やっていることはいいことであるが、何時やるとか、どのような方向でやるとか、どんな手順で進めていくのかいうことをきちんとここで議論して意見を出していく。田中議員も言っているが、休校に対して総理大臣から話があったが、阿智村は阿智村の状況があるのでそれに合わせた形で考えてもらいたいということがあった。急ぐためには校長会が早いかもしれないが、教育委員会でしっかり練って次に発信していく。急ぐ場合には委任することもある。教育委員会の定例会で練ってからそれぞれおろしていく。校長会で初めて聞いたということにならないように、私たちも気をつけてお願いしていく必要があるのではないかな。

(教育長)

ごもつものの面もあろうかと承知している。できるだけ教育委員会の運営について配慮して参りたい。定例教育委員会は月1回。なかなかそれに合わせて物事を進めていくのは難しい。コロナ禍における学校対応については迅速な対応が求められることもあるので、その点は理解していただければありがたい。また、事後になることもあるかと思う。重大な事案の際には召集をしますがすべてがきちんとできるわけではないことをご理解いただきたい。

(原彰彦委員)

それは重々承知している。お金がかかったり人が必要であったりした時には声をかけていただきたい。こういう方向でやるぞという時にひと声かけていただければ。委任するということは当然出てくるので、何をどのように議事に取り

り上げ協議に持っていくのか、そこらへんを教育長も考えておられると思うが、私たちも必要だったら話をして議題にあげていく必要があると感じている。

4 報告・連絡事項

(1) 各係からの報告

- ・新型コロナウイルス感染症陽性者が発生した場合の対応について（総務係）
教育次長説明

（原勝人委員）

濃厚接触者が学校をまたいでいた場合当該者は2週間の出席停止、学校は普通に動いているということでよいか。

（教育次長）

陽性者になった場合は学校が休業だが、濃厚接触者になっても陽性者が出ない限り学校は休業しない予定でいる。

- ・日本福祉大学自治体推薦について（学校教育係）

学校教育係説明

- ・広報「教育の窓」の発行について（学校教育係）

羽生学校教育専門主事説明

- ・ふるさと学習発表会について（学校教育係）

羽生学校教育専門主事説明

- ・第3回英語検定について（学校教育係）

- ・学校別英語研修について（学校教育係）

佐々木学校教育専門主事説明

- ・令和3年度入所児童数の見込みについて（保育園係）

原保育園総園長説明

（熊谷歩委員）

保育士の配置基準を知りたい。

（保育園総園長）

国の基準は0歳児3人に1人、1歳～2歳児6人に1人、3歳児20人に1人、4、5歳児30人に1人。村の基準は1歳児のみ4人に1人としている。

- ・放課後総合プランの進捗状況について（子育て支援室）

子育て支援室長説明

- ・令和2年度成人式の対応について（公民館係）

公民館兼社会教育係長説明

（原彰彦委員）

飯伊管外は全員PCR検査を受けなければいけないということですか。

（公民館兼社会教育係長）

管外はPCR検査か抗原検査を必ず受ける形です。

（熊谷均委員）

検査をどこで受けられるか情報として出しているか。

(公民館兼社会教育係長)

情報提供はしている。

(熊谷歩委員)

県外の人はどこで受けるのか。

(教育次長)

6日から8日のうちに検査をしてほしいということで場所は指定していない。その期間内で受けてほしいということでお願いしている。

(原彰彦委員)

先ほど言い忘れてしまったが、ふるさと学習について次の会はPTAも入ってくると広がってくると思う。

(2) 1月定例教育委員会の開催について

1月15日(金)午後1時30分

(3) その他

(閉会 午後3時00分)

教育長・教育委員 署名／捺印